



勢いよく駆け出す20キロに出場の選手たち

トワイライトラン 遠野 Twilight Run 8月20日

## 晩夏の遠野で心地良い汗流す

トワイライトラン(遠野市陸上競技協会主催、佐々木裕子会長)は遠野運動公園内周回コースで初開催されました。2.5キロ、5キロ、20キロの3部門に市内外から151人がエントリー。1周2.5キロの周回コースを駆け巡り健脚を競いました。菊池星那さん(遠野西中3年)は、「大人とのレースは初めて。速いペースについていくのが大変だったけど楽しかった」と大粒の汗をぬぐい、爽やかに語りました。



家族で買い物を楽しむ来場者

駅前マルシェ&駅弁まつり 8月20日

## 家族連れでにぎわう

同マルシェは、遠野駅と駅前広場を会場に開かれました。▷手作り雑貨の販売▷おもちゃのすくい取り▷JR企画の特産品が当たるくじ引き—などのブースが展開。駅構内では近隣市町村の駅弁販売も行われ、多くの家族連れでにぎわいました。子どもと買い物を楽しんだ及川千秋さん(松崎町)は、「久しぶりのイベントに参加。いろんな出店があって楽しめた」と笑顔で話しました。



協定を結んだ遠野高・三浦立校長と多田市長、緑峰高・高橋堅校長

地域・世界の未来を創る人材育成に向けた連携に関する協定 8月23日

## 市と市内2高が連携協定結ぶ

市と遠野高、遠野緑峰高が同協定を結びました。遠野を学びの舞台に、地域・世界の未来を創る人材育成が目的。子どもたちが世界で活躍できる力を身に付けられるよう、▷人材育成事業の展開・支援▷両校のブランディング—などに連携・協働して取り組みます。多田市長は、「世界は変わっていく。市、学校、地域が一体となって未来の人材を育てていかないといけない」とあいさつしました。



多様な性について説明するいわてレインボーマーチの阿部紗彩さん

## 5 エス・ディーズ ジェンダー平等を実現しよう

ゴール5の目標は、性別による差別がない未来を目指すこと。「男性らしく」や「女性らしく」ではなく、「自分らしく」生きられる社会の実現が求められています。市は8月5日、いわてレインボーマーチの講師を招き、LGBTQ+ (性的マイノリティを表す総称のひとつ)に関する研修会を開催。参加者は、性差別や偏見のないまちに向けて、正しい知識を学びました。

## 7月29日 河川愛護団体等感謝状贈呈式 宮守川上流友の会に知事感謝状

長年、河川愛護意識を高く持ち、宮守川上流部の美化活動を続けている宮守川上流友の会に知事感謝状が贈られました。平成13年6月に設立以来、同河川周辺の草刈りやごみ拾い、レンギョウの剪定を年2回以上実施。21年間で延べ46日、10,358人が参加して活動を展開しました。友の会代表の菊池誠志さん(宮守町宮守)は、「今後も、豊かな自然環境を守り続けていきたい」と意欲を新たにしました。



感謝状を受け取った宮守川上流友の会の菊池代表と菅原伴耕さん

## 8月1日 コミュニティ・スクール推進研修会 熟議を活かして子どもの未来考える

研修会は市民センターを会場に開かれ、関係者32人が参加しました。コミュニティ・スクールは学校・保護者・地域住民が協働し地域とともにある学校づくりを進める取り組み。当日は、課題共有や解決に有効な話し合いの手法「熟議」について演習を交え学びました。豊川浩子副校長(綾織小)は、「研修を通じて互いの理解が重要と学んだ。これからの教育を考えていきたい」と今後について話しました。



熟議の演習を学ぶ参加者

## 8月4日 天津木村のどっかええトコありますか? 遠野の魅力テレビでPR

お笑いタレントでいわて暮らしアンバサダーの天津木村さんが番組の企画で本市を訪問。市長室でおすすめスポットや特産品情報をリサーチした後、市内のホップやひまわり畑など旬の遠野を取材し、番組内でPRしました。天津木村さんは、「僕の出身は兵庫県福崎町の隣。高校は福崎町で妖怪と馴染みがあるから民話のこの雰囲気が落ち着く」と遠野の印象を語りました。



市長室を訪れた天津木村さんと多田市長、カリンちゃん

## 7月24日 第42回岩手県消防操法競技会 2部門で遠野勢が健闘する

同競技会は矢巾町の岩手県消防学校で開催されました。本市から、ポンプ車操法の部で第7分団第1部(青笹町)が、小型ポンプ操法の部で第5分団第2部(松崎町)が出場。日ごろの訓練の成果を発揮しました。個人では、第7分団第1部4番員の小水内耕作さん(青笹町)が優秀選手賞に選出されました。市では、消防団員を募集中で随時受け付けています。



第7分団第1部のみなさん

第5分団第2部のみなさん